

令和6年度

富富富栽培こよみ

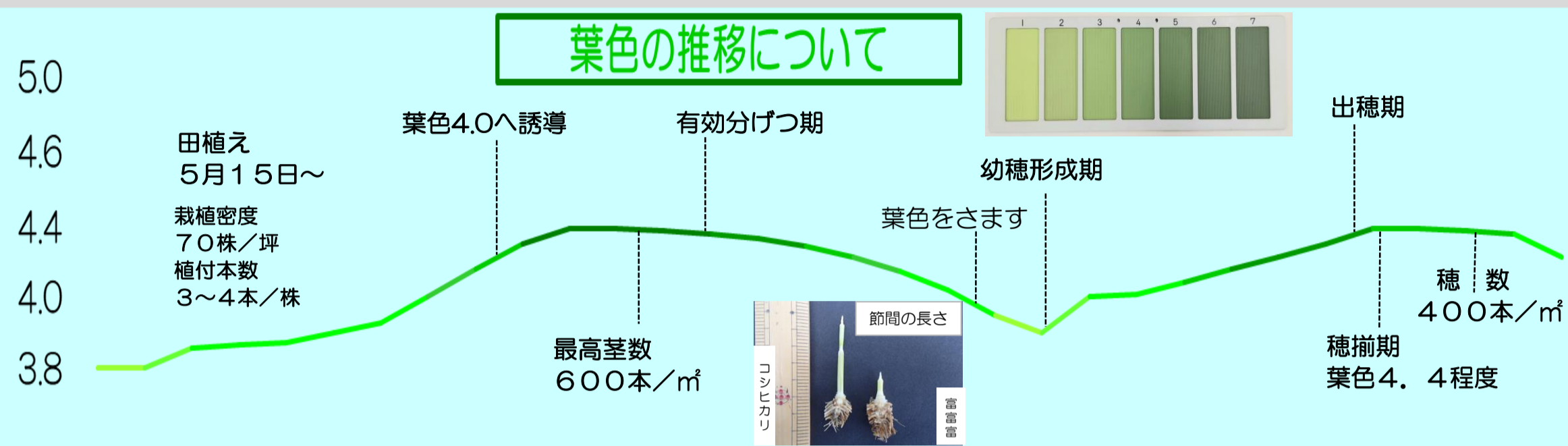
みな穂農業協同組合
黒東地域農業技術者協議会

重点対策

- ①初期茎数の確保 ②根づくりと健全な根の伸張 ③穂揃期の葉色維持と登熟の向上 ④カメムシによる斑点米防止

収量構成の目安

収量	540kg/10a
穂数 / m ²	400本
1穂着粒数	75粒
登熟歩合	80%
玄米千粒重	22.3g



品質・食味

白未熟粒の発生が少なく
粒揃いが良く炊き上がりは
香りが良く冷めてもおいしい

富富富の流通基準

検査等級 : 1等
農薬成分数 : 12以内

※病害虫雑草防除
に使用する化学
合成農薬の成分
使用回数は、
『合計12以内』
とする。

富富富の玄米 コシヒカリの玄米

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月																	
生育	浸種	播種	育苗期	田植	活着期	有効分けつ期	無効分けつ期	幼穂形成期	穂ばらみ期	出穂期	登熟期	成熟期、収穫																		
水管理			立札の設置	深水管理	浅水管理	軽い田干し	中干し	溝掘	間断かん水	飽水管理	出穂期から20日間湛水管理	間断かん水	落水																	
栽培管理について	<p>土づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 堆肥、発酵ケイフンの施用 ケイ酸質資材の継続的な施用 			<p>11日間を目安の浸種を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> 出芽ムラを無くすため、コシヒカリより2日間程度長めに行う 荒くり代かきによる田面の均平を行う 			<p>5月15日を目安とした田植の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 富富富専用基肥一発肥料側条施用の場合10aあたり28〜32kg(コシヒカリの2割減) ハウス内の換気の徹底 温度が25℃以下になるように注意 			<p>田植え時の株数は70株を基本とし良質な茎の確保を!</p>			<p>中干し</p> <ul style="list-style-type: none"> 田植後4週間以内に確実にを行う 茎数の目安 320本/m² 			<p>無効分けつ期</p> <p>幼穂形成期までの落水期間を長めに</p>			<p>一斉草刈り</p> <p>分施肥系の場合は適期の穂肥施用を</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回目幼穂形成期の7日後 2回目はその7日後に行う 			<p>防除</p> <p>出穂から20日間の湛水管理を行う</p> <p>気温の高い日が続く場合は3日に1回水の入れ替えを行う</p> <p>刈取り予定日の5〜7日前まで間断かん水を行う</p>			<p>収穫作業は籾黄化率80%から開始</p> <p>適正な乾燥速度で水分を均一に</p> <p>紙袋 14.5%</p> <p>フレコン 14.5%</p> <p>ふんばい1・9mmの厳守</p>			<p>《品質目標》玄米タンパク含有率0.4%以下</p>		

田植までに必要な農薬

- 種子消毒剤
- テクリードCフロアブル (1成分)
- 苗箱施薬剤
- フェルテラ箱粒剤 (1成分)

除草剤について

田植からの日数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
一発処理の場合	→				プライオリティ1kg粒剤 (2成分)															
体系処理の場合	かなつぐ1kg粒剤 (2成分)				プライオリティ1kg粒剤(2成分)															
密苗の場合	ピラクロン粒剤 (1成分)				アクシズMX1kg粒剤 (3成分)															

(散布量は1kg/10a)

本田防除 (液剤)

- 1回目 【走り穂】
- スタークル液剤10 (1成分) + モンカットフロアブル (1成分) 10aあたり農薬100ml
- 2回目 【穂揃期】
- ラブサイドK2フロアブル (2成分) 10aあたり農薬100ml
- ※散布方法によって希釈倍率が異なります (ウツカ類、カメムシ類、紋枯病)

※ 散布量の確認は、JA指導員または振興センターへ!